

ことわざの意味①

年 組 番 氏名

次のことわざの意味としてもっともふさわしいものを、あとのア～エから一つ選び、下の に書きましょう。

① 背せに腹はらはかえられぬ

- ア 重要なことのためには、多少の犠牲ぎせいをはらってもしかたがないということ
- イ 何かをするときに、あせるとかえって失敗することが多くなるということ
- ウ 勝ちを相手にゆずっても、人と争わない方がかえって有利になるということ
- エ 自分より強い相手には、反対せずに言うとおりにした方がよいということ

② 口は災いのもと

- ア 悪い噂うわさは、すぐに色々な人に知れわたるということ
- イ 大事なことを言っても、少しもきき目が無いということ
- ウ 自分に都合つしうの悪いことを人に知られぬようにすること
- エ うかつなことを言うと、不幸の原因になるということ

③ 縁えんの下の力持ち

- ア 自分の身近な手元にあるので、気が付かないということ
- イ 人の知らないところで、他人のために力をつくすこと
- ウ 心配するより、実際にやってみた方が簡単かんだということ
- エ 少しのものでも、積もり積もれば大量になるということ

【解答】

ことわざの意味①

年

組

番

氏名

次のことわざの意味としてもっともふさわしいものを、後のア～エから一つ選び、下の に記号を書きましよう。

① 背に腹はかえられぬ

ア

- ア 重要なことのためには、多少の犠牲をはらってもしかたがないということ
- イ 何かをするときに、あせるとかえって失敗することが多くなるということ
- ウ 勝ちを相手にゆずっても、人と争わない方がかえって有利になるということ
- エ 自分より強い相手には、反対せずに言うとおりにした方がよいということ

② 口は災いのもと

エ

- ア 悪い口は、すぐに色々な人に知れわたるということ
- イ 大事なことを言っても、少しもきき目が無いということ
- ウ 自分に都合の悪いことを人に知られぬようにすること
- エ うかつなことを言うと、不幸の原因になるということ

③ 縁の下の力持ち

イ

- ア 自分の身近な手元にあるので、気が付かないということ
- イ 人の知らないところで、他人のために力をつくすこと
- ウ 心配するより、実際にやってみた方が簡単だということ
- エ 少しのものでも、積もり積もれば大量になるということ

ことわざの意味②

年 組 番 氏名

次の①～⑩のことわざの意味としてもっともふさわしいものを、あとのア～エからそれぞれ一つ選び、下の□に書きましょう。

① 泣き面に蜂

- ア 悪い目にあっているとき、さらに別の悪い目にあうこと
- イ 大さわぎになって、手がつけられない様子のこと
- ウ 何も感じないこと
- エ 今にも泣きそうな顔をする事



□

② 馬の耳に念仏

- ア おとっているものを捨て、優れたものに乗りかえること
- イ かくしていた本性や悪事がばれること
- ウ 人の意見や忠告に耳を貸そうとせず、少しも効果がないこと
- エ 他の人の言うことが弱点について、聞くのがつらいこと



□

③ 犬も歩けば棒に当たる

- ア 疑う余地がないくらい、あたりまえであること
- イ 本当に実力がある人は、さわぎ立てたりしないということ
- ウ チャンスにめぐり会えることはめったにないということ
- エ 何かをしようとすれば、何かと災難にあうということ



□

④ 豚に真珠

- ア おだてられて気をよくすると、能力以上のこともできるということ
- イ どんなに価値があっても、その価値がわからない人にとっては無意味だということ
- ウ 大きな悪事のつぐないとして、少しの善いことをすること
- エ 思いがけない幸運がめぐってくる事



□

⑤ 井の中の蛙、大海を知らず

- ア どんな非難や仕打ちを受けても、いっこうに気にせず平気なこと
- イ おそろしさのため、身がすくんで動けなくなる事
- ウ 冷静でないときは、何でもないことも疑わしく見えてくるということ
- エ 広い世界があることに気づかず、得意になっている事



□

⑥ 鯉こいの滝登りたき

- ア あきらめがいいこと
- イ 目覚ましく立身出世すること
- ウ 相手のなすがままに任せることより仕方がないこと
- エ どんなに努力しても見込みがないこと



⑦ 猿も木から落ちる

- ア 自分の欠点に気づかず、他人の欠点をあざ笑うこと。
- イ その道の達人でもたまには失敗することもあるということ
- ウ 不可能なことをしようとすること
- エ 仲が悪いこと



⑧ とらぬ狸たぬきの皮算用かわざんよう

- ア めったにない大きなチャンスのこと
- イ 相手をあまく見て、だまそうとした相手から逆にだまされること
- ウ 一見無関係のように見えて、実は同類・仲間であること
- エ 当てにならないことを当てにして計画を立てること



⑨ 猫ねこに小判こばん

- ア どんなに価値があっても、その価値がわからない人にとっては無意味だということ
- イ 本性をかくしておとなしそうに見せること
- ウ 真に優れた才能のある人は、それをみやみにひけらかしたりしないということ
- エ 名案であっても実行するのがむずかしいということ



⑩ やぶをつついて蛇へびを出す

- ア どんなおそろしいことになるか予測できないこと
- イ 余計なことをして、かえって災難さいなんを招くこと
- ウ 意外なところから意外なものが出ること
- エ 一度ひどい目にあうと、必要以上に用心深くなるということ



【解答】

ことわざの意味②

□ 年 □ 組 □ 番 氏名 □

① 泣き面に蜂

□
ア

ア 悪い目にあっているとき、さらに別の悪い目にあうこと

② 馬の耳に念仏

□
ウ

ウ 人の意見や忠告に耳を貸そうとせず、少しも効果がないこと

③ 犬も歩けば棒に当たる

□
エ

エ 何かをしようとすれば、何かと災難にあうということ

④ 豚に真珠

□
イ

イ どんなに価値があっても、その価値がわからない人にとっては無意味だということ

⑤ 井の中の蛙、大海を知らず

□
エ

エ 広い世界があることに気づかず、得意になっていること

⑥ 鯉の滝登り

□
イ

イ 目覚ましく立身出世すること

⑦ 猿も木から落ちる

□
イ

イ その道の達人でもたまには失敗することもあるということ

⑧ とらぬ狸の皮算用

□
エ

エ 当てにならないことを当てにして計画を立てること

⑨ 猫に小判

□
ア

ア どんなに価値があっても、その価値がわからない人にとっては無意味だということ

⑩ やぶをつついて蛇を出す

□
イ

イ 余計なことをして、かえって災難を招くこと

ことわざの意味③

年

組

番

氏名

一 次の文章を読んであとの問いに答えましょう。

(1) 次のことわざは、他者と上手にコミュニケーションをとりながらすごしていくための知恵ちえが**つ**まったことばです。あとの①～④の意味に合うことわざを、ア～キの中から**選**び、記号を書きましよう。

ア 言いわぬが花 イ 十じゅう人にん十と色
エ 口くちは災わざいのかど オ 郷ごうに入いって**は**郷ごうに**従**え ウ 一いち事じが万ばん事
キ 衣い食じ足くりて礼れい節せつを知しる カ 親おやしきなかにも礼れいぎあり

① どんなに親しい間まがらでも、礼れいぎを忘わすれては**い**け**な**い。

答こたえ

② ううっつかりよけいなことを話わすと、それが災さい難なんの元もとになること**が**ある**の**で気きをつけ**な**さい。

答こたえ

③ 口くちに出いして言いわない方が、むしろ相手には好すましい**い**うこと。また、ははっきり言いわない方が、かかえかってススムスズに**い**く。

答こたえ

④ 人ひとはそれぞれ、ちがった考かんえや好すみをも**つ**ている**い**うこと

答こたえ

(2) 「情なさけけは人のため**な**らず」ということわざの意味は、次つぎの①～④のど**れ**でし**よ**う。ももつともふふさわしいものを二つ選えび、記号を書きましよう。

- 1 人ひとに情なさけけをかけて助たすけてあげること**は**、結け局ごうはその人ひとのため**に**ならない。
- 2 人ひとに情なさけけをかけてあげても、結け局ごうは自分おのれが損そんをする**だ**けだ。
- 3 人ひとに情なさけけをかけておくと、めめぐりめめぐって結け局ごうは自分おのれのため**に**なる。
- 4 人ひとに情なさけけをかけても、いいいこと**は**ない。

答こたえ

【解答】

ことわざの意味③

一 次の文章を読んであとの問いに答えましょう。

- (1) 次のことわざは、他者と上手にコミュニケーションをとりながらすすんでいくための知恵ちえが詰まったことばです。あとの①～④の意味に合うことわざを、ア～キの中から選び、記号を書きましよう。

ア	言わぬが花	イ	十人十色 <small>じゅうにんといろ</small>	ウ	一事が万事 <small>いちじがばんじ</small>
エ	口は災 <small>わざわ</small> いのかど	オ	郷 <small>ごう</small> に入 <small>い</small> っては郷 <small>ごう</small> に従 <small>したが</small> え	カ	親 <small>おや</small> しきなかにも礼 <small>れい</small> ぎあり
キ	衣食 <small>いしょく</small> 足りて礼 <small>れい</small> 節 <small>せつ</small> を知る				

- ① どんなに親しい間がらでも、礼れいぎを忘わすれてはいけない。

答え

カ

- ② うっかりよけいなことを話すと、それが災難さいなんの元になることがあるので気をつけなさい。

答え

エ

- ③ 口に出して言わない方が、むしろ相手には好ましいということ。また、はっきり言わない方が、かえってスムーズにいく。

答え

ア

- ④ 人はそれぞれ、ちがった考えや好みをもっているということ

答え

イ

- (2) 「情けは人のためならず」ということわざの意味は、次の①～④のどれでしょう。もっともふさわしいものを二つ選び、記号を書きましよう。

- 1 人に情けをかけて助けてあげることが、結局はその人のためにならない。
- 2 人に情けをかけてあげても、結局は自分が損そんをするだけだ。
- 3 人に情けをかけておくと、めぐりめぐって結局は自分のためになる。
- 4 人に情けをかけても、いいことはない。

答え

3

解説 このことわざは、後に「めぐりめぐっておのがため(自分のため)」ということばが続きます。人に親切にしておくと、それはめぐりめぐって、やがて自分のためになるのだから、人には親切にしましようという教えです。

故事成語を調べよう

年組番氏名

◆ 中国に伝わる古い話がもとになって生まれた言葉を故事成語といいます。
次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

昔、中国に賈島（かとう）という詩人がいました。賈島は、役人の試験を受けるため、ロバに乗って都に来ました。都の中を移動しているときに、詩を作ることに夢中になってしまった賈島は、目の前を役人の行列が通っていることに気付かず、その行列に、ロバに乗ったままぶつかってしまいました。その行列は、韓愈（かんゆ）というえらいお役人のものだったので、その場は大きわざになりました。
このとき賈島の頭をいっばいにしていたのは、試作中の詩の句に、「推す（おす）」という言葉を使うか、「敲く（たたく）」という言葉を使うかということでした。
「僧は推す月下の門」（僧は月明かりのもと、友人の家の門をおす）
（なかなかいい句だが、推すよりも敲くのほうがいいかもしれない。）
「僧は敲く月下の門」（僧は月明かりのもと、友人の家の門をたたく）
（これも、悪くないなあ。）
賈島がぶつかってしまったわけを説明すると、文学者でもある韓愈は、「それは、『敲く』のほうがよいだろう。」
と、アドバイスをくれました。
その後、ふたりは詩について語り合い、親しい仲になったということでした。
（『唐詩紀事』をもとに作成）

(1) 韓愈が、「敲くのほうがよい」と考えたのは、次の【理由】からです。【理由】の【ア】
【イ】にあてはまる言葉を、①、②の中からそれぞれ一つ選び、番号を書きましよう。

【理由】

【ア】であれば、僧はあらかじめ約束をしてあって、勝手に門を開けて入っていくことになる。

【イ】であれば、僧はたまたま月が美しいので、友といっしょに味わおうと思っ

て友をさそったことになる。
だから、「敲く」の方が、静かな夜、月明かりのもと、門を敲く音がひびいて風流である。

- ① 推す（おす） ② 敲く（たたく）

答え ア イ

(2) この話をもとにした、「詩や文章を書いたあと、何度も練り直す」ことを表す故事成語があります。その故事成語としてあてはまるものを、次の①～③の中から一つ選び、番号を書きましよう。

- ① 五十歩百歩（ごじっぴゃひゃっぱ） ② 推敲（すいこう） ③ 蛇足（だそく）

答え

【解答】 故事成語を調べよう

年

組

番

氏名

◆ 中国に伝わる古い話がもとになって生まれた言葉を故事成語といいますが、次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

昔、中国に賈島（かとう）という詩人がいました。賈島は、役人の試験を受けるため、ロバに乗って都に来ました。都の中を移動しているときに、詩を作ることに夢中になってしまった賈島は、目の前を役人の行列が通っていることに気付かず、その行列に、ロバに乗ったままぶつかってしまいました。その行列は、韓愈（かんゆ）というえらいお役人のものだったので、その場は大さわぎになりました。このとき賈島の頭をいっぱいにしていたのは、試作中の詩の句に、「推す（おす）」という言葉を使うか、「敲く（たたく）」という言葉を使うかということでした。「僧は推す月下の門」（僧は月明かりのもと、友人の家の門をおす）（なかなかいい句だが、推すよりも敲くのほうがいいかもしれない。）「僧は敲く月下の門」（僧は月明かりのもと、友人の家の門をたたく）（これも、悪くないなあ。）

賈島がぶつかってしまったわけを説明すると、文学者でもある韓愈は、「それは、『敲く』のほうがよいだろう。」と、アドバイスをくれました。その後、ふたりは詩について語り合い、親しい仲になったということでした。

（『唐詩紀事』をもとに作成）

(1) 韓愈が、「敲くのほうがよい」と考えたのは、次の【理由】からです。【理由】の【ア】イにあてはまる言葉を、①、②の中からそれぞれ一つ選び、番号を書きましよう。

【理由】

【ア】であれば、僧はあらかじめ約束をしてあって、勝手に門を開けて入っていくことになる。

【イ】であれば、僧はたまたま月が美しいので、友といっしょに味わおうと思って友をさそったことになる。

だから、「敲く」の方が、静かな夜、月明かりのもと、門を敲く音がひびいて風流である。

① 推す（おす） ② 敲く（たたく）

答え

ア ①

イ ②

(2) この話をもとにした、「詩や文章を書いたあと、何度も練り直す」ことを表す故事成語があります。その故事成語としてあてはまるものを、次の①～③の中から一つ選び、番号を書きましよう。

① 五十歩百歩（ごじっばひゃっぱ） ② 推敲（すいこう） ③ 蛇足（だそく）

答え

②

※いろいろな故事成語について調べてみましょう。

慣用句

□年 □組 □番

氏名

□

「慣用句」とは、昔から使われてきた言い回しで、二つ以上の言葉が組み合わさって、ひとまとまりの意味を表す言葉です。

山本さんの学級では、「慣用句」について学習しました。山本さんは、「耳」・「目」という言葉を用いた慣用句の意味と、その使い方をカードに書いています。カードの□に入る慣用句の意味としてふさわしいものを、あとの1〜4の中からそれぞれ一つ選び、その番号を書きましよう。

【山本さんが書いたカード】

「耳にたこができる」

◆意味：何度も同じことを聞かさ
れ、うんざりする。

◆使い方：この話は、耳にたこが
できるほど聞いた。

「耳が痛い」

◆意味：

◆使い方：この話は、ぼくに
とって耳が痛い。

「目を落とす」

◆意味：下を見る。

◆使い方：足元に目を落とす。

「目を配る」

◆意味：

◆使い方：一人一人に目を配る。

ア：

□

- 1 相手の話を一生けんめいに聞く。
- 2 相手の声が大きくて、聞いていられない。
- 3 自分のあやまちや弱みを言われ、聞くのがつらい。
- 4 自分のあやまちや弱みの改善策^{かいぜんさく}を言われ、ためになる。

イ：

□

- 1 物をさがす。
- 2 注意を向けてよく見る。
- 3 こっそり行動する。
- 4 人にやさしくする。

【解答】慣用句

【山本さんが書いたカード】

「耳にたこができる」

- ◆意味：何度も同じことを聞かさ
れ、うんざりする。
- ◆使い方：この話は、耳にたこが
できるほど聞いた。

「耳が痛い」

- ◆意味：
- ◆使い方：この話は、ぼくに
とって耳が痛い。

「目を落とす」

- ◆意味：下を見る。
- ◆使い方：足元に目を落とす。

「目を配る」

- ◆意味：
- ◆使い方：一人一人に目を配る。

ア： 3

- 1 相手の話を一生けんめいに聞く。
- 2 相手の声が大きくて、聞いていられない。
- 3 自分のあやまちや弱みを言われ、聞くのがつらい。
- 4 自分のあやまちや弱みの改善策かいぜんさくを言われ、ためになる。

イ： 2

- 1 物をさがす。
- 2 注意を向けてよく見る。
- 3 こっそり行動する。
- 4 人にやさしくする。



【耳が痛い】

・「痛い」は、「苦しく感じる」「弱点をこっげきされて手の打ちようがなく困る」という意味もあります

【目を配る】

・「配る」は、「わたす」「届けて回る」「注意を行きわたらせる」「配置する」などがあります。

慣用句は、次のような種類に分けることができます。

- ① 体の部分に関する語が入っているもの
- ② 動物名が入っているもの
- ③ 数字が入っているもの

本や文章を読んで、その中に使われている慣用句を探して、一覧表にまとめたり、国語辞典で意味を調べたりしてみましよう。調べた慣用句を、スピーチや説明的な文章を書くときなどに使えるといいですね。

古典を読もう（伝統的な言語文化）

年	組	番	氏名

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

左の文章は、およそ千年ほど前に「清少納言」という人が書いた①『枕草子』という作品の一部です。『枕草子』は、清少納言が、様々な体験を通して、考えたり、感じたりしたことを、自由に思うままに書きつづった文章です。「現代語訳」と照らし合わせて、読み味わってみましょう。

『枕草子』

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

夏は夜。月のころはさらなり、やみもなほ、蛍の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くも②をかし。雨など降るも②をかし。

秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、烏の寝どころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなど飛び急ぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるは、いと②をかし。日入りはてて、風の音、虫の音など はた いふべきにあらず。

冬は④つとめて。雪の降りたるはいふべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火など急ぎおこして、炭もて渡るも、いとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も、白き灰がちになりてわろし。

【第一段】

〔現代語訳〕

春は明け方がいい。だんだんと白くなって行く山ぎわが少し明るくなって、紫がかつた雲が細くたなびいているのがおもむきがある。

③夏は□がいい。月のながめのよいころはいうまでもない、月が出ていないやみの夜もやはり蛍がたくさんとび交っているのがおもむきがある。また、ただ一つ二つなど、ほのかに光って飛んでいくのもおもむきがある。雨などが降る夜もおもむきがある。

秋は夕暮れがいい。夕日がさして山のはしがたいそう近くなったところに、烏がねぐらに行こうと、三つ四つ、二つ三つなど急いで飛んでいく様子までしみじみとした感じがする。まして雁などが列になって飛んでいるのが、大変小さく見えるのはとてもおもむきがある。日がすっかりしずんでしまつて風の音や虫の音が聞こえてくるのもいいようのないほどおもむきがある。

冬は早朝がいい。雪が降り積もつた早朝はいうまでもない。霜がたいそう白い朝も、またそうでなくてもたいそう寒い朝に、火などを急いでおこして炭を持って運ぶのもたいそう冬の早朝らしい。昼になって寒さがゆるんでいくと、火桶の火も白い灰が多くなつてきてよくない。

ー ①～④の——線部について、次の問いに答えましょう。

① 次の文章は、『枕草子』についての説明です。ア、イに入る言葉を書きましよう。

『枕草子』は、清少納言という人が、人生の様々な体験を通して、（ア）たり、（イ）たりしたことを、自由に思うままに書いた文章である。

ア…

--

イ…

--

② 昔の言葉づかいは、現代とはちがったつかい方のものがあります。

「をかし」とは、心に感じたときにつかう言葉で、現代語訳では「□□□□がある」としてあります。あてはまる言葉を書きましよう。

答え

がある。

③ 現代語訳の続きを書きたいと思います。「夏は」に続く□に入る言葉を一文字で書きましよう。

答え

夏は

--

がいい。

④ 「つとめて」とは一日のうちどのような時間帯であると考えられますか。現代語訳をもとに答えましよう。

答え

二次の文章は、『枕草子』を読んだ山田さんの感想です。これを読んで、次の問に答えましよう。

平安時代の人が書いた文章を、何度も声に出して読んでみると、いくつか感じたことがありました。
まずは言葉のリズムのおもしろさです。声に出すと音が心地よく、すんなりと自分の中に入ってきて、すぐにおぼえてしまいました。
つぎに、昔の人のものの見方や感じ方が今にも通じるということです。「秋は夕暮れがいい」というのは、今のぼくが読んでもなるほどと思うところです。
最後に、言葉の表記の仕方や音は、今とちがう点があるということです。「やうやう」と書いて「ようよう」と読むのは今とちがう点です。

① 山田さんはまずはじめに何を感じたと述べていますか。十二文字で書きぬきましよう。

答え

② 何が今にも通じると述べていますか。十三文字で書きぬきましよう。

答え

【解答】古典を読もう（伝統的な言語文化）

① 次の①～④の問いに答えましょう。

① 次の文章は、『枕草子』についての説明です。ア、イに入る言葉を書きましよう。

『枕草子』は、清少納言という人が、人生の様々な体験を通して、（ア）たり、（イ）たりしたことを、自由に思うままに書いた文章である。

ア：

考え

イ：

感じ

② 昔の言葉づかいは、現代とはちがったつかい方があります。

「をかし」とは、心に感じたときにつかう言葉で、現代語訳では「□□□□がある」としてきます。あてはまる言葉を書きましよう。

答え

お
も
む
き

 がある。

③ 現代語訳の続きを書きたいとします。「夏は」に続く□に入る言葉を一文字で書きましよう。

答え

夏は
夜

 がいい。

④ 「つとめて」とは一日のうちでどのような時間帯であると考えられますか。現代語訳をもとに答えましよう。

答え

早
朝

二次の文章は、『枕草子』を読んだ山田さんの感想です。これを読んで、次の問に答えましよう。

平安時代の人が書いた文章を、何度も声に出して読んでみると、いくつか感じたことがあります。

まずは言葉のリズムのおもしろさです。声に出すと音が心地よく、すんなりと自分の中に入ってきて、すぐにおぼえてしまいました。

つぎに、昔の人のものの見方や感じ方が今にも通じるということです。「秋は夕暮れがいい」というのは、今のぼくが読んでもなるほどと思うところです。

最後に、言葉の表記の仕方や音は、今とちがう点があるということです。「やうやう」と書いて「ようよう」と読むのは今とちがう点です。

① 山田さんはまずはじめに何を感じたと述べていますか。十二文字で書きぬきましよう。

答え

言
葉
の
リ
ズ
ム
の
お
も
し
ろ
さ

② 何が今にも通じると述べていますか。十三文字で書きぬきましよう。

答え

昔
の
人
の
も
の
の
見
方
や
感
じ
方

複合語（動作を表す言葉）

年	組	番氏名	

二つの言葉が組み合わさって一つの言葉になったものを、複合語といいます。
 次の(1)～(6)は、動作を表す言葉を組み合わせた複合語です。
 例を参考に、次の(1)～(6)の にあてはまる言葉を書きましょう。

例 飛ぶ + 上がる ↓ 飛び上がる

(1) + 終わる ↓ 話し終わる

(2) かける + 上がる ↓

(3) + 流す ↓ 洗い流す

(4) 積む + 重なる ↓

(5) + 歩く ↓ さがし歩く

(6) 使う + 分ける ↓

複合語（動作を表す言葉）

【解答】

<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	組	<input type="text"/>	番氏名	<input type="text"/>
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	-----	----------------------

二つの言葉が組み合わさって一つの言葉になったものを、複合語といいます。次の(1)～(6)は、動作を表す言葉を組み合わせた複合語です。

例を参考に、次の(1)～(6)の にあてはまる言葉を書きましょう。

例 飛ぶ + 上がる ↓ 飛び上がる

(1) 話す + 終わる ↓ 話し終わる

(2) かける + 上がる ↓ かけ上がる

(3) あらう + 流す ↓ あらう流す

(4) 積む + 重なる ↓ 積み重なる

(5) さがす + 歩く ↓ さがし歩く

(6) 使う + 分ける ↓ 使い分ける

複合語（ものの名前を表す言葉）

<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	組	<input type="text"/>	番	氏名	<input type="text"/>
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----	----------------------

二つの言葉が組み合わさって一つの言葉になったものを、複合語といいます。

次の(1)～(6)は、ものの名前を表す言葉を組み合わせた複合語です。

例を参考に、次の(1)～(6)の にあてはまる言葉を、読み方を（ ）に書きましょう。

例 夜 + 汽車 ↓ 夜汽車（よぎしゃ）

- | | | | | | | | |
|-----|-----|---|---|---|----------------------|---|---|
| (1) | 雨 | + | 雲 | ↓ | <input type="text"/> | (|) |
| (2) | 船 | + | 旅 | ↓ | <input type="text"/> | (|) |
| (3) | 白い | + | 波 | ↓ | <input type="text"/> | (|) |
| (4) | 小さい | + | 雨 | ↓ | <input type="text"/> | (|) |
| (5) | 金 | + | 物 | ↓ | <input type="text"/> | (|) |
| (6) | 口 | + | 笛 | ↓ | <input type="text"/> | (|) |

【解答】 複合語（ものの名前を表す言葉）

年	組	番	氏名
---	---	---	----

二つの言葉が組み合わさって一つの言葉になったものを、複合語といいます。

次の(1)～(6)は、ものの名前を表す言葉を組み合わせた複合語です。

例を参考に、次の(1)～(6)の にあてはまる言葉を、読み方を（ ）に書きましょう。

例 夜 + 汽車 ↓ 夜汽車（よぎしゃ）

(1) 雨 + 雲 ↓ (あまぐも)

(2) 船 + 旅 ↓ (ふなたび)

(3) 白い + 波 ↓ (しらなみ)

(4) 小さい + 雨 ↓ (こさめ)

(5) 金 + 物 ↓ (かなもの)

(6) 口 + 笛 ↓ (くちぶえ)

複合語（いろいろな複合語）

	年
	組
	番
	氏名

二つの言葉が組み合わさって一つの言葉になったものを、複合語といいます。複合語になると、形や読み方が変化することがあります。

次の(1)～(8)は、動作を表す言葉、様子を表す言葉、ものの名前を表す言葉をそれぞれ組み合わせた複合語です。次の(1)～(6)の にあてはまる言葉を書きましよう。また、()の中には、読み方を書きましよう。

- | | | | | | | |
|-----|--|---|-----|---|------|-----|
| (1) | | + | 苦しい | ↓ | 暑苦しい | |
| | | | | | | |
| (2) | | + | 細い | ↓ | | |
| (3) | | + | 青い | ↓ | | |
| (4) | | + | ずるい | ↓ | | |
| (5) | | + | 葉 | ↓ | 落ち葉 | () |
| (6) | | + | 海 | ↓ | | () |
| (7) | | + | 白 | ↓ | | () |
| (8) | | + | 船 | ↓ | | () |

【解答】 複合語（様子を表す言葉）

年 組 番氏名

二つの言葉が組み合わさって一つの言葉になったものを、複合語といいます。複合語になると、形や読み方が変化することがあります。

次の(1)～(8)は、動作を表す言葉、様子を表す言葉、もの名前を表す言葉をそれぞれ組み合わせさせた複合語です。次の(1)～(6)の にあてはまる言葉を書きましよう。

- | | | | | | |
|-----|-----|--------|---|--------|-----|
| (1) | 暑い | + 苦しい | ↓ | 暑苦しい | () |
| (2) | 細い | + 長い | ↓ | 細長い | () |
| (3) | 青い | + 白い | ↓ | 青白い | () |
| (4) | ずるい | + かしこい | ↓ | ずるがしこい | () |
| (5) | 落ちる | + 葉 | ↓ | 落ち葉 | () |
| (6) | 海 | + 開く | ↓ | 海開き | () |
| (7) | 白 | + 波 | ↓ | 白波 | () |
| (8) | 船 | + 旅 | ↓ | 船旅 | () |

文と文をつなぐ言葉

年

組

番 氏名

A小学校では、毎年冬になると給食で出される牛乳の飲み残しが増えることになっています。そこで、給食委員会では、集会で、牛乳を飲むことの大切さを全校児童に伝えることにしました。

次の文章は、給食委員長の田中さんが考えた発表原こうです。ア・イ・ウ
の中に入る最もふさわしい言葉を、あとの1～5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【 田中さんが書いた発表原こう 】

給食委員会からお知らせします。

最近、給食の時に牛乳を残す人が増えていきます。ア、冬になって寒くなってきたために、冷たい牛乳を飲むことをいやがる人が増えたからではないでしょうか。しかし、牛乳は、とても優れた飲み物です。残したり捨てたりするのは、とてももったいないことだと思います。

牛乳には、体の血や肉を作るために欠かせない良質のタンパク質や、丈夫な骨や歯を作るために必要なカルシウムがたくさんふくまれています。運動をした後に牛乳を飲むと、カルシウムの吸収率が高まるといわれています。イ、牛乳には皮膚や粘膜を健康に保ち、免疫力を高めるためのビタミン類もふくまれています。

ウ、牛乳には私たちの体を丈夫にしたり、調子を整えたりする優れた栄養がたっぷりふくまれています。みなさん、ぜひ、牛乳を残さずに飲むようにしましょう。

答え

ア

1 たとえば

イ

2 さらに

ウ

3 その原因は

4 そのために

5 このように

【解答】 文と文をつなぐ言葉

年	組	番	氏名
---	---	---	----

A小学校では、毎年冬になると給食で出される牛乳の飲み残しが増えることになっています。そこで、給食委員会では、集会で、牛乳を飲むことの大切さを全校児童に伝えることにしました。

次の文章は、給食委員長の田中さんが考えた発表原こうです。ア・イ・ウ
の中に入る最もふさわしい言葉を、あとの1〜5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【 田中さんが書いた発表原こう 】

給食委員会からお知らせします。
最近、給食の時に牛乳を残す人が増えていきます。ア、冬になって寒くなってきたために、冷たい牛乳を飲むことをいやがる人が増えたからではないでしょうか。しかし、牛乳は、とても優れた飲み物です。残したり捨てたりするのは、とてももったいないことだと思います。
牛乳には、体の血や肉を作るために欠かせない良質のタンパク質や、丈夫な骨や歯を作るために必要なカルシウムがたくさんふくまれています。運動をした後に牛乳を飲むと、カルシウムの吸収率が高まるといわれています。イ、牛乳には皮膚や粘膜を健康に保ち、免疫力を高めるためのビタミン類もふくまれています。
ウ、牛乳には私たちの体を丈夫にしたり、調子を整えたりする優れた栄養がたっぷりふくまれています。
みなさん、ぜひ、牛乳を残さずに飲むようにしましょう。

- 答え
- | | |
|---|---|
| ア | 3 |
| イ | 2 |
| ウ | 5 |
- 1 たとえは
2 さらに
3 その原因は
4 そのために
5 このように

主語と述語

年	組	番	氏名

長い文を読むときには、次の例のように、主語と述語との関係に注意すると意味がわかりやすくなります。

例 みんなで読んだ本が、どんどん増えた。
 (主語) (述語)

あとの二つの の中の文で、主語を示す 部ア・イの述語に当たるものを、 部イ〜4の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を書きましょう。

(答え)

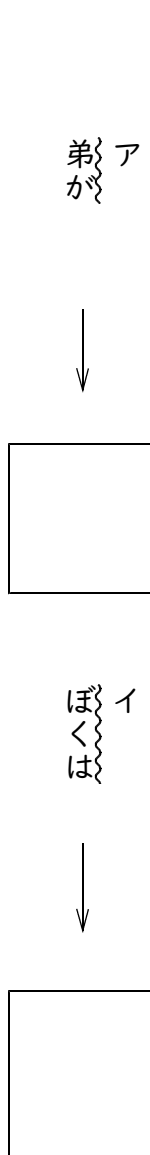
4	わたしは、 友だちが、 作った チョコレートを 大切に 一つずつ 食べた。
---	---

わたしは ↓

友だちが ↓

(答え)

4	弟が、 けた サッカーボールを ぼくは 思いっきり 空に 向かって けり返した。
---	---



【解答】 主語と述語

年
 組
 番氏名

長い文を読むときには、次の例のように、主語と述語との関係に注意すると意味がわかりやすくなります。

例 みんなで読んだ本が、どんどん増えた。
 (主語) (述語)

あとの二つの の中の文で、主語を示す ~~~~~ 部ア・イの述語に当たるものを、~~~~~ 部イ〜4の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を書きましょう。

(答え)

ア わたしは、
 イ 友だちが、
 1 作った
 2 チョコレートを
 3 大切に
 一つずつ
 4 食べた。

イ 友だちが
 ↓
 1

(答え)

ア 弟が、
 1 けた
 2 サッカーボールを
 イ ぼくは、
 思いっきり
 3 空に
 向かって
 4 けり返した。

↓
 1

↓
 4

(答え)

ア 弟が
 ↓
 1

↓
 4

一文を二文に分ける①

年

組

番

氏名

問 給食委員の太田さんは、栄養価の高い食品について調べ、けいじぶつ揭示物を作ることに
なりました。太田さんは、次の「大豆だいずについて書かれた文章の一部」の——線
部が長いので、二つの文に分けて書くことにしました。

——線部を二つの文に分け、あとの にそれぞれ一文ずつ書きま
しょう。

【大豆について書かれた文章の一部】

大豆にはタンパク質、カルシウム、ビタミンなど多くの栄養素がふくまれ、そ
のタンパク質は肉や卵に負けないほど良質なものである。大豆はさまざま食品
に加工され、日々の食生活に利用されている。例えば、豆腐とうふ、味噌みそ、醤油しょうゆ、納豆なっとう、煮豆にまめ、
おから、きな粉などがある。

答え

【解答】 一文を二文に分ける①

年	組	番	氏名
---	---	---	----

問 給食委員の太田さんは、栄養価の高い食品について調べ、揭示物を作ることに
なりました。太田さんは、次の「大豆について書かれた文章の一部」の——線
部が長いので、二つの文に分けて書くことにしました。

——線部を二つの文に分け、あとの□にそれぞれ一文ずつ書きま
しょう。

【大豆について書かれた文章の一部】

大豆にはタンパク質、カルシウム、ビタミンなど多くの栄養素がふくまれ、そ
のタンパク質は肉や卵に負けないほど良質なものである。大豆はさまざま食品
に加工され、日々の食生活に利用されている。例えば、豆腐、味噌、醤油、納豆、煮豆、
おから、きな粉などがある。

答え

大豆にはタンパク質、カルシウム、ビタミンなど多くの栄養素がふくまれている。

大豆のタンパク質は肉や卵に負けないほど良質なものである。

一文を二文に分ける②（文と文をつなぐ言葉）

年

組

番

氏名

高島さんは、「体力向上」について調べたことを文章に書きました。読み直した後、——線部の文について、文と文をつなぐ言葉を使って、二つの文に分けて書き直すことにしました。二つの文に分け、あとの にそれぞれの文を書きましょう。ただし、 には、文と文をつなぐ言葉を書くこと。

【「体力向上」についての文章の一部】

交通手段や家電製品の発達によって、生活は便利になったが、体を動かす機会が減り、運動不足の人が増加している。このような生活の中では、意識して体を動かさないと、今の体力を保つことさえも難しい。

答え

【解答】 一文を二文に分ける②（文と文をつなぐ言葉）

年	組	番	氏名
---	---	---	----

高島さんは、「体力向上」について調べたことを文章に書きました。読み直した後、——線部の文について、文と文をつなぐ言葉を使って、二つの文に分けて書き直すことにしました。二つの文に分け、あとの□にそれぞれの文を書きましょう。ただし、□には、文と文をつなぐ言葉を書くこと。

【「体力向上」についての文章の一部】

交通手段や家電製品の発達によって、生活は便利になったが、体を動かす機会が減り、運動不足の人が増加している。このような生活の中では、意識して体を動かさないと、今の体力を保つことさえも難しい。

答え

交通手段や家電製品の発達によって、生活は便利になった。

しかし

、
体を動かす機会が減り、運動不足の人が増加している。

文章の構成をとらえよう

年

組

番

氏名

◇次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

いま、日本各地でニホンジカが増えて問題になっています。シカが好んで食べる植物が減ってしまったため、農作物が被害を受けています。さらに、急に飛び出してきたシカと自動車がぶつかる交通事故も増えていきます。一時期、青森県や本州の標高の高い場所からは姿を消すほど数が減りましたが、シカをとる人が少なくなり、数が急に増えてしまいました。

シカは多くの植物を食べるため、増えすぎると他の生物たちが生息できなくなったり、森林の機能が低下したりしてしまいます。森林被害を軽減するためには、増えすぎたニホンジカを適正な数まで減らすことが重要です。

近年、食材としてつかまえられた野生の動物の肉の料理を出す店が増えてきています。シカの肉は「紅葉（もみじ）」と呼ばれ、ヘルシーな食材として関心を集めています。また、シカの肉に含まれる鉄分は人間の体に吸収されやすく、貧血を予防する働きも持っています。シカの肉は日本ではあまり一般的ではありませんが、ヨーロッパでは高級食肉とされています。

一 この文章は、いくつかの文からできていますか。文の数を漢字で書きましょう。

答え

二 文章中の——線部を、文と文をつなぐ言葉を使って、二つの文に分けて書き直しましょう。

答え

--	--

三 この文章は、いくつかの段落からできていますか。段落の数を漢字で書きましょう。

答え

四 この文章の構成として最も適切なものを次の1～3の中から一つ選び、その番号を書きましょう。

- 1 問題提起ー解決方法ー具体例
- 2 具体例ー問題提起ー解決方法
- 3 解決方法ー具体例ー問題提起

答え

【解答】文章の構成をとらえよう

一 この文章は、いくつの文からできていますか。文の数を漢字で書きましょう。

答え

十

■解説

文を正しくとらえる問題です。句点（。）に着目します。

二 文章中の——線部を、文と文をつなぐ言葉を使って、二つの文に分けて書き直しましょう。

答え

一時期、青森県や本州の標高の高い場所からは姿を消すほど数が減りました。
しかし、シカをとる人が少なくなり、数が急に増えてしまいました。

■解説

逆接の接続語(文と文をつなぐことば)をいれて、正しく二つの文章に分ける問題です。逆説の接続語「けれども、しかしながら」などをいれても正解です。文の最後には、句点を忘れないようにしましょう。

三 この文章は、いくつの段落だんちやくからできていますか。段落の数を漢字で書きましょう。

答え

三

■解説

形式段落を正しくとらえる問題です。一字下がりに着目します。

四 この文章の構成として最も適切なものを次の1〜3の中から一つ選び、その番号を書きましょう。

- 1 問題提起ー解決方法ー具体例
- 2 具体例ー問題提起ー解決方法
- 3 解決方法ー具体例ー問題提起

答え

1

敬語を使おう

年

組

番

氏名

問1

木島さんは地域ちいきのお年寄りと交流するため、打ち合わせをすることになりました。次の文章は、その時の会話の様子です。ア～ウの（ ）に入る最適なことばを選び、番号を書きましよう

木島 ..はじめまして。わたしは木島さち子と（ア）。よろしく願いします。地域の方..はじめまして。よろしく願います。

木島 ..今日は、みなさんにプレゼントをお持ちしました。わたしの手作りのクッキーです。みなさんで（イ）ください。地域の方..まあ、うれしいわ。後でみんなで（ウ）ます。ありがとうございます。

ア

- ①おっしゃいます
- ②言います
- ③申します

イ

- ①いただいて
- ②めしあがって
- ③食べて

ウ

- ①めしあがり
- ②食べ
- ③いただき

問2

木島さんは、地域の方と次の打ち合わせの日程を決めています。次の文章は、その時の会話の様子です。エ、オの（ ）に入る最適なことばを選び、□に番号を書きましよう。

木島 ..今日は、ありがとうございます。次は、みなさんに学校へ来て（エ）予定です。

地域の方..いつごろになりますか。

木島 ..来週の火曜日です。

地域の方..では、来週の火曜日に学校へ（オ）ます。よろしく願います。

エ

- ①いただく
- ②もらう
- ③ほしい

オ

- ①お聞きしてい
- ②うかがい
- ③お待ちしてい

【解答と解説】 敬語を使う

問1

- ア ① おっしゃいます
② 言います
③ 申します
- イ ① いただいて
② めしあがって
③ 食べて
- ウ ① めしあがり
② 食べ
③ いただき
- ③
- ②
- ③

◆問1は、「けんじょう語」「尊敬語」を考える問題です。

けんじょう語は、相手を高めて言う言い方です。尊敬語は、目上の人に対して使うことばです。相手を尊敬していいいにことばを話していることがわかる言い方になります。

アは「言う」のけんじょう語

イは「食べる・飲む」の尊敬語

ウは「食べる・飲む」のけんじょう語

問2

- エ ① いただく
② もらう
③ ほしい
- オ ① お聞きしてい
② うかがい
③ お待ちしてい
- ①
- ②

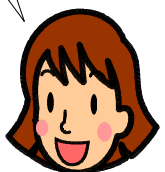
◆問2も、「けんじょう語」「尊敬語」を考える問題です。

エは「もらう」の尊敬語

オは「行く」のけんじょう語

※オの「うかがう」の他には「参ります」を使うこともあります。

「敬語」は、日常生活の中で
進んで使ってみましょう。



「書写」①筆使い「はらい」を調べよう

年 組 番 氏名

書写の学習で、橋本さんは「右はらい」を学びました。「右はらい」は筆を右ななめ下に進め、とちゅうで一度筆を止めて、次第に細く書くのが難むずかしいと思いました。

問一 橋本さんは「右はらい」の練習を多くやってみたいと考えました。次の熟語の中で「右はらい」が二回入っているものをすべて選び、記号で書きましょう。

ア 大木

イ 景色

ウ 迷路

エ 日記

オ 左右

カ 会社

キ 必要

ク 表示

右はらいが二回入っているのは（

）

問二 他にも「右はらい」が入っている漢字を調べることになりました。「右はらい」のある漢字を四つ考えて書きましょう。

【解答】「書写」①筆使い「はらい」を調べよう

年 組 番 氏名

書写の学習で、橋本さんは「右はらい」を学びました。「右はらい」は筆を右ななめ下に進め、とちゅうで一度筆を止めて、次第に細く書くのが難むずかしいと思いました。

問一 橋本さんは「右はらい」の練習を多くやってみたいと考えました。次の熟語の中で「右はらい」が二回入っているものをすべて選び、記号で書きましょう。

ア 大木

イ 景色

ウ 迷路

エ 日記

オ 左右

カ 会社

キ 必要

ク 表示

右はらいが二回入っているのは（ ア ウ ）

問二 他にも「右はらい」が入っている漢字を調べることになりました。「右はらい」のある漢字を四つ考えて書きましょう。

※解答例です。他にもあります。

長

枝

反

末

「書写」②手紙を書こう

年 組 番 氏名

十一月八日の書写の学習で、千葉さんはリサイクル工場の田中和子さんにお礼の手紙を書くことにしました。

先日の工場見学ではお世話になり、ありがとうございました。
ロボットが作業したり、人が目で仕分けをしたりして、リサイクルをしている様子がよくわかりました。今回、見学したことをまとめ、工業についてさらに勉強していきたいと思います。

これからお体を大切に、お仕事をがんばってください。

ア	イ
ウ	

問一 手紙の後付けを書こうとしています。

ア イ ウ の中には、どのような内容を書くよいですか。
1〜3の中から、それぞれ一つ選び、その番号を書きましょう。

- 1 千葉 花子
- 2 田中 和子 様
- 3 十一月八日

ア () イ () ウ ()

問二 書き終わった手紙を読んだ千葉さんは、手紙の初めに季節を取り入れたあいさつ文を書こうと考えました。次の1〜3の中から最も適切なものを一つ選び、番号を□に書きましょう。

- 1 校庭のいちようの葉が黄色に色づきました。
- 2 新緑が美しい季節になりました。
- 3 せみの声がにぎやかになってきました。

問三 千葉さんは、ふうとうの用意をしました。次の「ふうとうの表」の
すか。あとの1〜4の中から、それぞれ一つずつ選び、その番号を書きましょう。

あ

い

う

には、どのような内容を書くとい

「ふうとうの表」

あ

う

い

- 1 リサイクル工場のゆうびん番号
- 2 リサイクル工場の住所
- 3 田中 和子 様
- 4 千葉 花子

あ ()
い ()
う ()

【解答と解説】「書写」②手紙を書こう

十一月八日の書写の学習で、千葉さんはリサイクル工場の田中和子さんにお礼の手紙を書くことにしました。

先日の工場見学ではお世話になり、ありがとうございました。
ロボットが作業したり、人が目で仕分けをしたりして、リサイクルをしている様子がよくわかりました。今回、見学したことをまとめ、工業についてさらに勉強していきたいと思います。
これからお体を大切に、お仕事をがんばってください。

ア	
ウ	イ

問一 手紙の後付けを書こうとしています。

ア イ ウ の中には、どのような内容を書くかといですか。
1〜3の中から、それぞれ一つ選び、その番号を書きましょう。

- 1 千葉 花子 2 田中 和子 様 3 十一月八日

ア (3) イ (1) ウ (2)

問二 書き終わった手紙を読んだ千葉さんは、手紙の初めに季節を取り入れたあいさつ文を書こうと考えました。次の1〜3の中から最も適切なものを一つ選び、番号を□に書きましょう。

- 1 校庭のいちようの葉が黄色に色づきました。
2 新緑が美しい季節になりました。
3 せみの声がにぎやかになってきました。

□ 1

手紙を書いたのは十一月なので、秋の様子を書いた文を選びます。

問三 千葉さんは、ふうとうの用意をしました。次の「ふうとうの表」の
 には、どのような内容を書くとい
 ですか。あとの1〜4の中から、それぞれ一つずつ選び、その番号を書きましょう。

あ

い

う

「ふうとうの表」

The diagram shows the front of an envelope with the following elements:

- Postage Stamp:** A green stamp with two flowers (one pink, one yellow) in the top-left corner.
- Postage Number:** A box at the top center containing the number "1 2 3 - 4 5 6 7".
- Recipient Name:** A vertical box in the center containing "う 田中 和子 様".
- Address:** A vertical box on the right containing "い 千葉県青空市晴山六三〇".
- Sender's Postcode:** A vertical box on the left containing "相手のゆうびん番号".
- Sender's Name:** A vertical box at the bottom left containing "相手の名前".
- Sender's Address:** A vertical box at the bottom right containing "相手の住所".

- 1 リサイクル工場のゆうびん番号
- 2 リサイクル工場の住所
- 3 田中 和子 様
- 4 千葉 花子

あ ()
 い ()
 う ()

3 2 1

（ ） （ ） （ ）

「ふうとうのうら」

The diagram shows the back of an envelope with the following elements:

- Postage Stamp:** A red 'X' mark in the top-left corner, indicating where a stamp should be placed.
- Postage Number:** The number "7 6 5 - 4 3 2 1" printed in the center.
- Address:** The address "千葉県海山市川口三八" printed vertically on the right.
- Sender's Name:** The name "千葉 花子" printed vertically on the left.

※自分の住所や名前は、ふうとうのうらに書きます。